

## 生きてて感謝感謝だ

僕は自分の部屋に戻ったが、家の生活費の工面の事が頭にあった。勉強にならない。畳に寝ころび、天井を見上げながら僕は思いに沈んだ。

母は女だから、それも手段を選ばない気性なので、健康だったら、すぐに、お金は手に入る様だ。

手段を選ばないと言うと、母には失礼かも。戦後、間もなく生まれた僕らを母は、そうして、育てて来た。

それを思うと、母にも同情するし、感謝もする。

母が経営したスナックに今の父は、お客でよく来ていた様だ。僕の父の父が、生きていたころからだ。僕の父の父も、今の父も、よく似ている。

二人とも、それだけ、生まれつき、楽道家であるようだ。自由と信念を大切にする人だ。

それを見ると、何だか、父がかわいそうに思った。

僕も父の様に自分のやりたいことで人生をまっとうしたい気持ちがある。